令和8年度　新技術・新工法研究開発促進事業

大転換期のモビリティ産業を読み解く

～自動車産業の今後の行方を考察する～

電動化や自動運転による大転換期を迎えるモビリティ産業において、新技術の実装や次世代のものづくりを見据えたアプローチが求められています。本セミナーでは、自動車ジャーナリスト／イノベーション・コンサルタントの川端由美氏を迎え、最新のモビリティ動向や自動車産業の変化と今後の展望を専門的な視点から解説していただきます。

受講料 **無料**

日時：令和8年12月18日（金）13:00～16:30

定員：30名

会場：宮城県産業技術総合センター大会議室

（仙台市泉区明通二丁目2番地）



※生成AIで画像作成しました

<内　容>

第一部

1．「世界の日本車」の変遷

2．世界で生き残るためには何が必要なのか

第二部

3．SDV技術が次世代モビリティの設計・生産

4．自動車部品業界に与える影響

5．東北地方の自動車産業を考察

6．まとめ

個別質疑応答対応

※タイトル・内容詳細は当日予告なく変更する場合があります。

講師紹介：**川端　由美** 氏

自動車ジャーナリスト／イノベーション・コンサルタント



住友電気工業にてデザインエンジニアとして研究開発に従事した後、二玄社に入社。自動車雑誌『NAVI』の編集記者を経て、『CAR GRAPHIC（カーグラフィック）』編集部に所属。その後、ドイツ・ミュンヘンに本拠を置く戦略コンサルティングファーム、ローランド・ベルガーにてイノベーション・ダイレクターを務める。

国土交通省、内閣府、内閣官房、デジタル庁、経済産業省などの政府有識者会議・検討委員会の委員を歴任。現在は、電動モビリティシステム専門職大学准教授、ウーマンズ・ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー（WWCOTY）審査員を務めるほか、FCCJ（日本外国特派員協会）の会員としても活動。著書に『日本車は生き残れるか』（講談社刊）。経済・ビジネス映像メディア「PIVOT」をはじめ、テレビやオンラインメディアにも多数出演。自動車ジャーナリストとして国内外で取材・執筆活動を続ける一方、グローバルな視点と先端技術に関する知見を生かし、モビリティを中心に、AIやロボティクスなど幅広い産業分野におけるイノベーション推進に取り組んでいる。

お申込み方法

下記詳細ページ、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

URL（https://logoform.jp/form/GQGB/1908295）

申込期限：令和8年12月15日（火）

【主 催】 宮城県産業技術総合 センター 、みやぎみやぎ自動車産業振興協議会

【共 催】 公益社団法人自動車技術会東北支部